

# 種子島の牛乳生産と乳製品

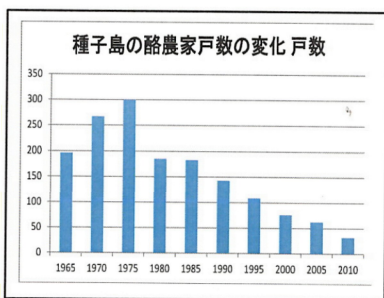
# 上西だより

～上西校区集落支援員だより～

西之表市地域支援課  
上西集落支援員  
馬場 信一 編集  
連絡先090-9579-3953  
上西校区長責任発行

かつて、酪農家は島内で300戸もありました。  
(右グラフ昭和50年)

なかでも上西は酪農が盛んな地域でした。  
(下の記事)



## 酪農とは

乳牛からしぼった生乳を加工した牛乳をはじめ、乳製品を生産するまでを生産過程を含んでおり、生乳を加工する仕事  
が「酪農」である。



## 26年ぶり県ホル共団体総合優勝

**優良牛に熊毛地区代表ズラリ**

10月1日、始良郡の中央家畜市場で行われた県ホルスタイン共進会で、熊毛地区が団体総合優勝を果たしました。熊毛地区が同共進会で団体総合優勝したのは26年ぶり。

共進会当日、会場の県中央家畜市場には、県下11地区の代表牛76頭が出品されました。熊毛からは9月14日の郡共進会で選ばれた7頭が出場しました。

激しい審査の結果、熊毛地区の代表牛は軒並み優良賞に選ばれ、見事念願の総合優勝を果たしました。

結果は次のとおりです  
(熊毛地区関係者、敬称略)

- ▼1部最優秀賞1席 上門光成(中種子町) ※1席
- ▼2部最優秀賞2席 石元秀和(西之表市) ▼2部優良賞 宮川新(西之表市)
- ▼4部優秀賞1席 小島幸男(南種子町) ▼5部最優秀賞2席 牧瀬正明(中種子町) ▼6部優秀賞2席 小島幸男(南種子町) ▼7部最優秀賞1席 松元啓泰

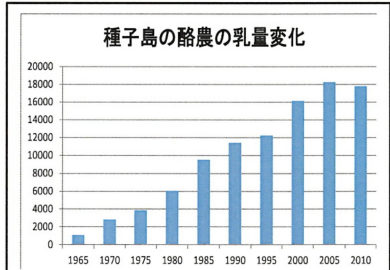
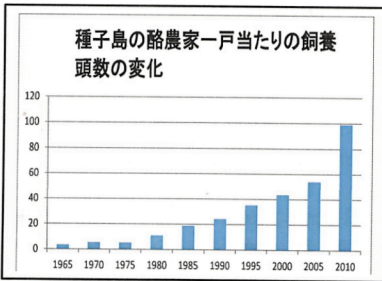
日ごろの飼育の成果が実り、出品者や関係者からは喜びを表わしています。

熊毛地区関係者、敬称略



H13「市政の窓」より抜粋

酪農家の戸数は減少しましたが、一戸当たりの飼養頭数は増加し、乳量も増加しています。(下のグラフ)



戸数の減少理由には厳しい乳質検査と、また昨今の輸入飼料の高騰がありますが、上右グラフのように酪農家の努力によってそれらをクリアしながら、茶の間の皆さんに牛乳や乳製品を届けているのです。

種子島で生産された生乳は、ミルクローリー車で運ばれクーラーステーションで摂氏3℃以下に冷やされて宮崎県都城工場で加工されます。

どんな商品が種子島のスーパーなどの店頭に並んでいるのか、デーリー南日本協同株式会社都城工場さんの協力を得て紹介します。

電話で対応してくださった方によりますと、お客様によく手に取っていただけるのはスコール、種子島3.6牛乳、高千穂牧場カフェオレ、ヨーグルッペだそうです。

スコールにはマンゴーもラインナップ入りし、ヨーグルッペはフルーツ、りんごなどバラエティに富む商品を出しています。これは人気がある証拠ですね。ヨーグルッペピーチは9/10に新発売されたばかりです。

全国では牛乳消費量の減少が続いていますが、地元の産業である酪農を盛り上げるためにも牛乳や乳製品を消費しましょう。



次号「上西だより」予定

上西小学校・校区合同  
秋季大運動会

予告では「池之久保の酪農」でしたが、「種子島の牛乳生産と乳製品」に変更いたしました。

参考；市政の窓 2001 (H13) 年 12月号 4ページ  
社会・総合学習「種子島の酪農」(白尾 裕志 野間小学校)